

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 奥付, 目次

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-01-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/2562

国立国語研究所論集

NINJAL Research Papers

18

2020年1月

January 2020

1. 刊行

国立国語研究所（以下、「研究所」という。）における研究活動の活性化と成果の公表及び所内若手研究者育成を目的として、『国立国語研究所論集』（英語名“NINJAL Research Papers”）を各年度に2回（原則として、7月と1月）発行する。

2. 投稿資格

投稿時に次のいずれかに該当する者とする。ただし、共著の場合は第1著者が次のいずれかに該当すればよい。

(1) 研究所の研究教育職員・研究員

(2) 研究所の客員教員，非常勤研究員・プロジェクト研究員，外来研究員，共同研究プロジェクトに参加している共同研究員（外来研究員及び共同研究員の場合は，それぞれ，受入れ教員及び参加している共同研究プロジェクトのリーダーに相談の上，投稿すること。）

(3) 研究所の名誉教授

(4) その他，国立国語研究所論集編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が認めた者

(注)上記(1)(2)に該当する者が退職または任期終了した場合は，その後5年間は投稿資格を有するものとする。
ただし，年度途中の退職または任期終了は，その年度末に発生したものとみなす。

3. 投稿時期 投稿原稿の締切は，毎年3月，6月，9月，12月の各10日とする。

4. 論文内容

(1) 投稿は未公開のオリジナルな原稿に限る。他誌に投稿中の原稿は投稿できない。

(2) 研究所の設置目的に沿う内容なら，理論・記述・調査・実験等の手法や分析の枠組みは問わない。ただし，「2. 投稿資格」の(2)に該当する者が投稿する場合は，内容は研究所在職中の研究内容・成果に限るものに限る。

(3) 研究所の研究教育職員・研究員及び非常勤研究員・プロジェクト研究員が投稿する場合は，原則としてNINJALサロンで発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。また，共同研究員が投稿する場合は，原則として，参加している共同研究プロジェクトの研究発表会で発表し，そこでの指摘を反映させた原稿とする。

(4) 共同研究員が投稿する場合は，論文の内容は，共同研究プロジェクトの研究内容及び研究成果であること。（後略）

(5) 外来研究員が投稿する場合は，論文の内容は，滞在期間中の研究題目に関する研究内容及び研究成果であること。（後略）

(6) 研究の中間報告，既発表論文のデータ補足的な報告も可とする。

5. 原稿のカテゴリー 「論文」のみとし，研究ノートや書評紹介は含めない。

6. 原稿の書式等（略）

7. 原稿提出方法（略）

8. 著作権

著者は，原稿を投稿する際に，以下を承諾したものとする。

- ・個々の論文の著作権は著者に帰属する。
- ・著者は，論文の複製権と公衆送信権の行使を研究所に許諾する。
- ・その他「国立国語研究所における編集著作物の取扱いについて」に定められている事項。

なお，他の著作物に掲載された図版の転載等にかかわる著作権処理，及びデータの利用・公開にかかわる関係者の許諾取得は，著者の責任において行うこと。

9. 採否 原稿の採否は，編集委員会が査読の上，決定する。

10. 校正（略） 11. 稿料（略） 12. 抜刷等（略）

「投稿・執筆要領」の全文および『国立国語研究所論集』オンライン版は、
国立国語研究所ウェブサイトをご覧ください。

Please visit the NINJAL website. You can download (i) the entire text of the guidelines for
manuscript submission and the style sheet, and (ii) full-text PDF files published in *NINJAL*
Research Papers.

<https://www.ninjal.ac.jp/publication/papers/>

<https://repository.ninjal.ac.jp/>

編集委員会 Editorial Board *委員長 Editor-in-chief

福永由佳 (FUKUNAGA Yuka)

井上文子 (INOUE Fumiko)

松本 曜 (MATSUMOTO Yo)

新野直哉 (NIINO Naoya)

山口昌也 (YAMAGUCHI Masaya)

山崎 誠 (YAMAZAKI Mokoto)*

国立国語研究所論集 第18号

NINJAL Research Papers No. 18

2020年1月31日 発行

編 集 国立国語研究所論集編集委員会

発 行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

TEL: 0570-08-8595 (ナビダイヤル)

<https://www.ninjal.ac.jp/>

E-mail: papers@ninjal.ac.jp (編集委員会)

印刷所 中西印刷株式会社

-
- コーパスを用いた仮定形音融合使用に関する計量的研究 入江さやか・金 明哲
- 『日本語日常会話コーパス』モニター版の設計・評価・予備的分析
小磯花絵・天谷晴香・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・
川端良子・田中弥生・伝 康晴・西川賢哉
- 北奥方言の動詞のアクセント資料 (2) 上野善道
- 「分類語彙表番号－UniDic 語彙素番号対応表」の構築 近藤明日子・田中牧郎
- 中級日本語学習者の視点は母語によって異なるか
——I-JASのストーリーテリングのデータの分析から—— ダンタイ クインチャー
- 危機言語としての日本手話 高嶋由布子
- 日本語の直示授与動詞「やる／くれる」の歴史 澤田 淳

目 次 Contents

コーパスを用いた仮定形音融合使用に関する計量的研究 A Quantitative Study Using Corpora on the Use of Contractions of Conditional Forms	入江さやか・金 明哲 IRIE Sayaka and JIN Mingzhe	1
『日本語日常会話コーパス』モニター版の設計・評価・予備的分析 小磯花絵・天谷晴香・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・ 川端良子・田中弥生・伝 康晴・西川賢哉 Design, Evaluation, and Preliminary Analysis of the Monitor Version of the <i>Corpus of Everyday Japanese Conversation</i>	KOISO Hanae, AMATANI Haruka, ISEKI Yuriko, USUDA Yasuyuki, KASHINO Wakako, KAWABATA Yoshiko, TANAKA Yayoi, DEN Yasuharu and NISHIKAWA Ken'ya	17
北奥方言の動詞のアクセント資料 (2) Accent Data of Verbs in the Northern Tohoku Dialects: Part 2	上野善道 UWANO Zendo	35
「分類語彙表番号 – UniDic 語彙素番号対応表」の構築 Construction of an Alignment Table between 'Word List by Semantic Principles' and UniDic	近藤明日子・田中牧郎 KONDO Asuko and TANAKA Makiro	77
中級日本語学習者の視点は母語によって異なるか ——I-JAS のストーリーテリングのデータの分析から—— Are Viewpoints of Intermediate Japanese Learners Different Depending on Their Native Language?: An Analysis from the Storytelling Data of I-JAS	ダンタイ クインチャー DANG THAI Quynh Chi	93
危機言語としての日本手話 Japanese Sign Language as an Endangered Language	高嶋由布子 TAKASHIMA Yufuko	121
日本語の直示授与動詞「やる／くれる」の歴史 The History of the Japanese Deictic Giving Verbs <i>Yaru</i> and <i>Kureru</i>	澤田 淳 SAWADA Jun	149